

◆BLOG

今回の大震災で、ホリエモン（堀江貴文氏）は、約65万人のフォロワーのために、自身のツイッターを情報ハブとして活用し、「地震なう」情報を流し続けたという。それで、消息がわかったという人もいて、改めてツイッターのメディアとしての役割が鮮明になった。

ただ、ネット上に流れるツイートはいまや1日1億5000万件を超え、ツイートの大氾濫時代、インフレ時代に突入している。こんなに莫大な情報が毎日飛び交えば、結局、そのほとんどは消費されず、誰の目にも止まらずに消え去るだけだ。

そこで、最近のアメリカの調査「[Who Says What to Whom on Twitter](http://research.yahoo.com/pub/3386)」<http://research.yahoo.com/pub/3386>を見ると、ツイッターがどういうメディアなのか、よりはっきりする。

この調査によると、エリートユーザー2万人が、世界中でアクセスされた全ツイート約50%を占めているという。つまり、ツイッター内の全アテンションの約50%が、2万人（ツイッター人口の0.05%以下）のエリートユーザーのツイートに集まっているのだ。ネットの理想は、情報のフラット化にあるということをする人間が多いが、じつは、ツイッターは平等でもフラットでもなく、エリートユーザーが独占する寡占化メディアに過ぎない。

エリートユーザーというのは、ほとんどが有名人である。つまり、そういう有名人が発するつぶやき以外は、結局は見向きもされないのである。

では、エリートユーザーにはどんな人間がいるのだろうか？ 以下がそのトップ10だ。

Top Twitter Users, Worldwide（月間増加数と総フォロワー数）

		Followers month	Total Followers
1	Lady Gaga	952,879	9,106,249
2	Justin Bieber	786,587	9,471,687
3	Britney Spears	286,859	7,274,148
4	Barack Obama	424,263	7,201,935
5	Kim Kardashian	460,163	6,848,124
6	ashton kutcher	122,293	6,502,882
7	Katy Perry	480,537	6,455,276
8	Ellen DeGeneres	284,828	6,282,492
9	taylorswift13	354,225	5,785,686
10	Gerard Winfrey	267,177	5,459,233

最近、フォロワー数をぐんぐん伸ばしているのは、900万人を突破したLady Gaga。彼女は、この1年間で、なんとフォロワー数を2.7倍にしている。またJustin Bieberにいたっては、なんと5.2倍も増やしている。

日本では、義援金100億円を出した孫正義氏が、4月に入ってフォロワー数が100万人を超えたという。政治家では鳩山由紀夫氏が断トツで65万人。タレントでは浜崎あゆみが47万人。また、企業アカウントではユニクロが15万6000人である。

言葉は悪いが、こうした有名人、企業にとって、ツイッターは自己宣伝の道具であり、使い方によってはフォロワーをカモにできるツールである。この辺を、見極めないと、一般ユーザーはツイッターによって、ますます利用されるだけではなかろうか？